

さいたま市立博物館

第35回 企画展

# 鴻

こうぬま

# 沼

令和6年

入館  
無料

3/9 土

6/9 日

9時～16時30分

休館日 月曜日

(4月29日、5月6日は開館)、  
3月21日(木)、4月30日(火)、  
5月7日(火)～5月10日(金)

さいたま市立博物館

さいたま市大宮区高鼻町 2-1-2

TEL 048-644-2322 FAX 048-644-2313

(左上) 踏み車(さいたま市立博物館蔵)

(右下) 井澤弥惣兵衛銅像(見沼自然公園)

(背景) 鈴谷村絵図(個人蔵・さいたま市立浦和博物館寄託)



# 鴻沼

令和6年  
3/9 土  
↓  
6/9 日  
9時～16時30分

現在のさいたま市中央区から桜区にかけて、かつて存在した「鴻沼」(「高沼」とも表記される)は、江戸時代の中頃まで周辺の村の農業用ため池として利用されてきました。享保13年(1728)から15年(1730)にかけ、江戸幕府第8代将軍・徳川吉宗の命を受けた井澤弥惣兵衛為永は、見沼とともに鴻沼の干拓及び新田開発を行いました。以来、見沼代用水西縁から高沼用水路へ水を取り入れるようになり、およそ280年の間、農業用水としての役割を担いました。その後、親水空間として生まれ変わり、現在に至っています。今回の企画展では、鴻沼の歴史の変遷を振り返るとともに、鴻沼資料館で収集した農具を中心に展示し、鴻沼の全貌について紹介します。

## 企画展関連イベント 費用無料

### ① 関連講座「さいたま市域の沼と開発」

講師／橋本直子氏(さいたま市史編さん専門委員・専修大学兼任講師)

日時／3月17日(日) 13時30分～15時30分 場所／さいたま市立博物館 講座室  
募集／3月7日(木) 9時より電話受付 定員／35人

### ② 実演「鴻沼のなりたちを再現してみよう！」

日時／3月23日(土) 11時～14時  
場所／さいたま市立博物館 特別展示室・北側駐車場  
申込／不要 集合場所／特別展示室前

### 学芸員による展示解説

日時／3月9日(土)、4月13日(土)、5月6日(月・祝)、6月9日(日) 各日11時～14時  
場所／さいたま市立博物館 特別展示室 所要時間／各40分程度 申込／不要



唐箕  
(鴻沼資料館蔵)



元禄年中改訂圖(『新篇武蔵風土記稿』足立郡一)

## さいたま市立博物館

さいたま市大宮区高鼻町2-1-2  
TEL 048-644-2322 FAX 048-644-2313



さいたま市立博物館ウェブサイト  
<https://www.city.saitama.lg.jp/004/005/004/005/008/index.html>



さいたま市の博物館 X (旧Twitter)  
<https://twitter.com/SaitamaMuseum>

※このチラシは6,500枚作成し、一枚当たりのコストは16円です。

